

Q. 「今、蘇る方谷DNA」を生かしたまちづくりを

A. この地域の特長を生かした魅力あるまちづくりを進めていきたい



ここを聞きました!

- 今なぜ山田方谷なのか。その方谷DNAとは何かを聞く
- 「今、蘇る方谷DNA」(古いものと新しいものの融合)を生かした地域振興モデル(懐かしい未来都市高梁の創造)と地域ブランドの確立を
- 高梁市における農林水産物の鳥獣被害対策について

今、なぜ山田方谷なのか。その方谷DNAとは何かを聞く

大森 新規事業や機構改革に山田方谷に関するものがあげられ、また「方谷さんを広める会」などの活動が活発に行われている。今、なぜ山田方谷なのか。そのDNAとは。市長 方谷の教えや考え方を生かした魅力あるまちづくりを進めていきたい。それが高梁の活性化につながっていくと思っている。

競争優位性・比較優位性のある持続可能なまちづくりについて

大森 F.C吉備国際大学シヤルムや備中松山城・吹屋などの競争優位性のある資源と、農業、医療・福祉、観光、大学など比較優位性のある地域の特性を組み合わせ、他の自治体・地域を巻き込んだ方谷DNAを生かした地域振興モデルの確立を。市長 古いものと新しいものをつなぎ合わせることはとても大切だ。今まではそれを生かしてきれていなかった。そのような中でF.C吉備国際大学シヤルムが出てきた。これを生かしたまちづくりを進めていきたい。それには皆さんのご協力も必要だ。この効果を他の産業、地域の福祉に波及させていくことが重要だ。

Q. TPP交渉参加に高梁市として抗議をするべきではないか

A. 国への要望は必要によって行う



ここを聞きました!

- TPPについて
- 健康で文化的な最低限度の暮らしを保障する行政を求める
- 市民の安全・安心確保のための防災対策を求める
- 体罰やいじめのない学校と社会を目指すことを求める

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)について

難波 安倍首相が、本市の農業も経済も壊してしまうTPP交渉参加に向け踏み出したことに対して抗議し、参加しないように求めること。市長 内容が明らかでない現段階でのTPP参加には賛成し兼ねる。健康で文化的な最低限度の暮らしを保障する行政を求める。難波 国が生活保護基準の引き下げをするが、市民生活にどのような影響をもたらすのか。市民生活部長 最低賃金の引き下げの可能性、住民税や就学援助、介護保険の優遇処置への影響が考えられる。難波 国に対して保護基準引き下げ

を行わないよう要望すること。市民生活部長 国が内容を示した段階で、必要があれば市長会などと連携して要望する。

体罰やいじめなどのない学校と社会を目指すこと 難波 教育現場や武道の授業での体罰やいじめの実態を問う。教育長 体罰はない。いじめは小学校で7件、中学校で2件あったが、7件は解決している。難波 体罰やいじめをなくす取り組みはどうあるべきかを問う。教育長 体罰は根絶しなければならぬ。いじめについては、初期の段階で教員・保護者・生徒で素早く対応する。社会全体で、子どもたちを健全に育成する取り組みを続けていきたい。

Q. 「ゆ・ら・ら」を活用して養護老人ホームを整備すべきだ

A. 有識者による検討会議の動向を見守りたい



ここを聞きました!

- 自殺対策について
- 教員のメンタルヘルス対策について
- 健康増進施設朝霧温泉「ゆ・ら・ら」の活用について

「ゆ・ら・ら」の有効活用を

川上 「ゆ・ら・ら」の施設を一部活用して、長寿園と成羽川荘を統合した高梁市養護老人ホームを整備すべきではないか。旧成羽高校跡地に整備するには2億円以上の余分な費用が必要になる。公共施設の箱物はこれから更新時期を迎え、維持管理費がどんどんかさんでくる。同類施設の統合も必要であり、使える施設は取り壊さず活用していくべきではないか。市民生活部長 「ゆ・ら・ら」については、これまでに有識者による検討会議を3回実施している。議論の中で福祉施設の整備についても意見が出ている。議論の動向を見守っている現状である。

教員のメンタルヘルス対策を

川上 近年、うつ病などの精神疾患により病気休職する教員が少なくない。教員のメンタルヘルスの重要性を鑑み、その改善に向けて、先進事例等を参考にしたり取り組んでいくべきではないか。教育長 これらの問題は教員個人による解決では難しく、学校管理職、さらには行政による支援も必要である。適正な教師間の役割分担、職場環境の改善、心の不健康状態にある教員の早期発見・早期治療に努めるよう支援していきたい。



ふたたび旅館となった「ゆ・ら・ら」

Q. 川上中学校改築の方向付けは?

A. 再検討し変化があれば議会にも相談する



ここを聞きました!

- 雇用促進住宅の活用について
- 人口減少時代における学校施設の有効活用について
- 市立図書館について
- 備中高梁駅バリアフリー化整備事業について
- 政策の統括と組織のあり方について

保護者の意見を尊重し川上中学校の改築を

宮田 川上中学校の改築については、地元の幼稚園、小学校、中学校のPTAの皆さんが改めてアンケート調査を実施し、6割以上の方が現在の旧川上農業高等学校跡地で良いという結果が出ている。教育委員会はこの結果を捉え、今後どのような対応をとるのか。教育次長 改めて地域の皆様のご意見を伺ったうえで、さまざま可能性を検討しながら、予定が変わるようならば議会にも相談をさせていただく。

高梁中央図書館建設について

宮田 予算付けとそのプロセスについては、然るべき方法論があつて当然である。しかし、すでに5900万円の高梁中央図書館施設整備に係る予算が計上されているが、その十分な裏付けはない。これで議会の了承を得ようということは教育委員会の見識にも関わりはしないか。教育長 十分な説明ができていなかったことは真摯に反省している。



高梁中央図書館